

## 9月の農作物病虫害発生現況

(令和7年9月16日現在) 山口県病虫害防除所

1 巡回調査期間:9月9日～11日

2 1か月気象予報(9月11日福岡管区気象台発表)

気温:低い 10%、平年並 10%、高い 80%

降水量:少ない 30%、平年並 30%、多い 40%

日照時間:少ない 30%、平年並 30%、多い 40%

3 発生現況

### 【イネ】

#### ○いもち病(穂いもち)

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 23.2%(平年 24.5%)、発病株率 5.2%(平年 6.9%)、発病穂率 0.3%(平年 1.3%)、被害度 0.1 (平年 0.8)

今後の予想:平年並

予想の根拠:ほ場調査(±)、気温は高い、降水量はほぼ平年並み (±)

#### ○紋枯病

発生現況:やや多

ほ場調査:やや多 発生ほ場率 33.3%(平年 28.1%)、発病株率 9.8%(平年 6.1%)、発病度 5.1(平年 2.4)

今後の予想:やや多

予想の根拠:ほ場調査(+)、気温は高い、降水量はほぼ平年並み (±)

#### ○ごま葉枯病

発生現況:多

ほ場調査:多 発生ほ場率 76.7%(平年 37.2%)、発病株率 45.3%(平年 20.2%)、発病度 11.7(平年 5.3)

#### ○白葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.1%)、発病株率 0%(平年 0.0%)、発病度 0(平年 0.0)

#### ○縞葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.3%)、発病株率 0%(平年 0.0%)

#### ○もみ枯細菌病

発生現況:多

ほ場調査:多 発生ほ場率 33.3%(平年 4.1%)、発病株率 4.0%(平年 0.6%)、発病穂率 0.2%(平年 0.1%)

#### ○稻こうじ病

発生現況:やや少

ほ場調査:やや少 発生ほ場率 2.1%(平年 6.8%)、発病株率 0.0%(平年 1.0%)

#### ○トビイロウンカ

発生現況:やや少

ほ場調査:やや少 発生ほ場率 6.7%(平年 21.5%)、10株当たり虫数 0.0頭(平年 15.7頭)、10株当たり短翅型成虫数 0.0頭(平年 0.9頭)

### 今後の予想:やや少

予想の根拠:ほ場調査(一)、気温は高い(+)

備考:10月以降に収穫するほ場でトビイロウンカの発生が多い場合は、追加防除を実施する。防除ができない場合は、早めに収穫する。

### ○コブノメイガ

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 23.3%(平年 39.8%)、被害葉率 0.2%(平年 1.5%)

### ○斑点米カメムシ類

発生現況:平年並

ほ場調査:やや多 発生ほ場率 33.3%(平年 50.0%)、20回すくい取り虫数 3.2頭(平年 1.8頭)、主要種はクモヘリカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ

8月6日～9月5日の予察灯(県内3か所)の誘殺数:平年並 1,332頭(平年 1,785頭)

### 今後の予想:やや多

予想の根拠:ほ場調査(+)、予察灯誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考:カメムシ類の発生が多い場合は、追加防除を実施する。なお、防除に当たっては使用時期等(農薬使用基準)を遵守する。

令和7年8月6日付け令和7年度農作物病害虫発生予察注意報第2号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22328.html>

### 【ダイズ】

#### ○ハスモンヨトウ

発生現況:やや少

ほ場調査:やや少 白変葉発生ほ場率 28.6%(平年 46.9%)、1a当たり白変か所数 0.3か所(平年 1.0か所)、㎡当たり虫数 0.2頭(平年 1.6頭)

8月6日～9月5日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数:やや少 4,942頭(平年 8,254頭)

### 今後の予想:やや少

予想の根拠:ほ場調査(一)、フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考:防除の目安は、白変葉の発生が1a当たり5か所以上。

ほ場をよく観察し、防除適期(若齢幼虫最盛期)に薬剤防除を実施する。

### ○吸実性カメムシ類

発生現況:やや多

ほ場調査:やや多 発生ほ場率 81.0%(平年 62.4%)、㎡当たり虫数 1.1頭(平年 0.6頭)

8月6日～9月5日の予察灯(県内3か所)の誘殺数:やや多 60頭(平年 52頭) 吸実性カメムシ類3種(アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ)合計

### 今後の予想:やや多

予想の根拠:ほ場調査(+)、予察灯誘殺数(+)、気温は高い(+)

備考:子実肥大期(開花期後45～50日)の防除を実施する。

防除の際はダイズの莢に薬剤が十分かかるよう散布する。

8月まで低密度でも、9月以降密度が急増することが多いため、ほ場での発生状況を確認する。

### ○ウワバ類等のチョウ目

発生現況:少

ほ場調査:少 発生ほ場率 57.1%(平成 77.6%)、㎡当たり虫数 0.3 頭(平成 1.4 頭)

今後の予想:少

予想の根拠:ほ場調査(一)、気温は高い(+)

備考:発生が多い場合は防除を実施する。

#### ○フタスジヒメハムシ

発生現況:平成並

ほ場調査:平成並 発生ほ場率 71.4%(平成 77.5%)、㎡当たり虫数 10.5 頭(平成 9.8 頭)

#### 【ナシ】

##### ○ナシヒメシクイ

発生現況:多

8月 11 日～9月 10 日のフェロモントラップ(萩市)の誘殺数:多 99 頭(平成 65 頭)

誘殺グラフ:ナシヒメシクイ(フェロモントラップ:萩市)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/189619.jpg>

今後の予想:多

予想の根拠:フェロモントラップ誘殺数(+)、気温は高い(+)

備考:発生が多い園地では、収穫期であっても収穫前日数に留意して防除を行う。

#### 【果樹全般】

##### ○カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)

発生現況:少

8月6日～9月5日の予察灯(県内4か所)の誘殺数:少 304 頭(平成 558 頭)

今後の予想:少

誘殺グラフ:果樹カメムシ類(予察灯:県内4か所合計)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/188941.jpg>

予想の根拠:予察灯誘殺数(一)、気温は高い(+)

備考:カンキツ類、カキ、リンゴ、晩生ナシ等で飛来を確認したら防除を徹底する。

#### 【野菜全般】

##### ○ハスモンヨトウ

発生現況:やや少

8月6日～9月5日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数:やや少 4,942 頭(平成 8, 254 頭)

誘殺グラフ:ハスモンヨトウ(フェロモントラップ:県内5か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22319.html>

今後の予想:やや少

予想の根拠:フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い、降水量はほぼ平成並み(+)

##### ○コガネムシ類(ドウガネブイブイ、アオドウガネ、コガネムシ、ヒメコガネ)

発生現況:やや多

8月6日～9月5日の予察灯(県内3か所)の誘殺数:やや多 216 頭(平成 162 頭)

誘殺グラフ:コガネムシ類(予察灯:県内3か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22319.html>